

記 録 的 寫 眞 電 送 の 實 驗



英國フイニスプリ無線電話局と、米國初有無線電話局との間に、最近記録的寫眞電送の實驗が行はれた。最初に電送された寫眞はアレキサンドラ女王の肖像であつたが、此寫眞は僅か二十分間にして大西洋(三千哩)を横断して米國に到着した。同は電送中の英國無線電話局、上圖は同様にして電送された米國大統領グーリツチ氏、下圖は廻轉筒でガラス面にはウエストミンスマー寺院の塔が現はれてゐる。

□ ! 値 價 の 朽 不 □

全集ダンテ

中山昌樹氏全譯

四六判六百頁布表裝天金
函入美本各卷挿畫入
定價各卷參圓 送料廿錢

五千年に亘る全人類の歴史の凡ゆる巨人の中文文化史的意義と價值との偉大に於て詩聖ダンテに優る者は無い。藝術哲學宗教政治凡そ人文の最眞最善なるものは悉く彼のうちに受肉體現されてゐる。誠にダンテは世界其物の如くに廣汎にして、宇宙其物の如くに深遠である。故に人類は他の何人を描いても先づ第一にダンテに親接せねばならぬ。ダンテに對する興味如何によつて一國の文化の高度が測定されるとさへ云はれてゐる。只彼の作品の内容が餘りに富麗深遠なるが爲此に通曉して其全集を翻譯することの至難なるは今日に到る迄、佛、獨、米の諸國を通じて未だ一つの纏まる全集譯本の無いのを見て知られる。然るに此等の所謂先進諸國を遠く抜いて茲に中山氏單獨の手に據り始めて統一ある全集完譯の刊行を見るに至つたのは實に世界史的意義を有する事業であつて日本文化の爲に喜ぶべく又全世界に對して眞に誇るに足る偉業と云はねばならぬ。譯者は日本隨一のダンテ學者であり其翻譯は最も正確なる原文に基く嚴密なる全譯であり且汎く伊、英、獨、佛、米諸國のダンテ文獻を涉獵して詳密周到なる註解が附されてゐる。文學藝術思想宗教に志す者は固より實業政治の實務に従事する者も共に萬人を擧げ永遠不朽の此大文獻を必讀必藏せねばならぬ。(各卷分買に應ず)

- | | |
|------------------|------------------|
| 第一卷 神曲 (地獄篇) 既刊 | 第六卷 饗宴 (下卷) 三月刊行 |
| 第二卷 神曲 (煉獄篇) 既刊 | 第七卷 俗語論・水陸論 四月刊行 |
| 第三卷 神曲 (天國篇) 既刊 | 第八卷 帝政論・書翰集 五月刊行 |
| 第四卷 新生・詩集 既刊 | 第九卷 詩聖ダンテ 既刊 |
| 第五卷 饗宴 (上卷) 二月刊行 | 第十卷 神曲の研究 既刊 |

發行所 東京市神田區北神保町 新 生 堂